

南保育園 和太鼓を披露したよ



南保育園では、いただいた間伐材がどのように使えるか先生から説明を受け、「保育園に届けられるまでに多くの方が携わっています。木の命を大切にしましょう」と約束しました。また、同社から贈られた和太鼓の演奏を披露しました。

北保育園 大切に使ってるよ



北保育園の遊戯室には「21世紀創造の森」から切り出された木、約60本が柱として使われています。木造園舎の保育園を大切にしていきたい、年長児は給食が終わると「ぴかぴか大作戦」の名のもと、ぞうぎんを絞って園内の掃除をし、毎日使っている物を大事にすることを学んでいます。今回は掃除の様子を見ていただきました。

木木がつなぐ 保育園とタイム技研(株)

大口南・西・北保育園

平成28年大口北保育園の建て替えで、タイム技研(株)所有の山「21世紀創造の森」(岐阜県関市)から伐採された間伐材が園舎に使われました。それをきっかけに、保育園とタイム技研(株)との交流が始まり、3園の年長児が「21世紀創造の森」へ秋の遠足に出かけ、森の散策や木の伐採見学などをとおして「命の恵み、大切さ」を学んできました。

今年度は森の安全確保が難しいため、行き先が変更されましたが、今までどおり遠足でプレゼントしていたお土産を届けに、同社の村田真実子さんと河村輝さんが3園を訪れました。

西保育園 森のお守りを作ったよ



▲各園にいただいた間伐材

3園を見学した村田さんは「私たちの山の木を大切に使用していただいているのを見てよかったです。有効的に活用していただいてありがとうございます」と話されました。

今回制作した「森のお守り」は、間伐材の作品とともにタイム技研(株)へお届けする予定です。

西保育園では、間伐材を「森のお守り」と呼び、紙やすりで仕上げる様子を見ていただきました。

他にも毎年、間伐材を利用しクリスマスやお正月向けに、作品作りを楽しみます。